

# 家庭でできる水害対策

## ～ 簡単な浸水防止方法 ～

台風やゲリラ豪雨による浸水被害を、家庭にあるものを使って簡単にできる「簡易水防工法」を紹介します。ただし、浸水初期、小規模な浸水に行い、浸水状況や町からの情報を優先し、避難するタイミングを失わないようにすることが大切です。

### ①ゴミ袋（レジ袋など）を使った簡易「水のう」

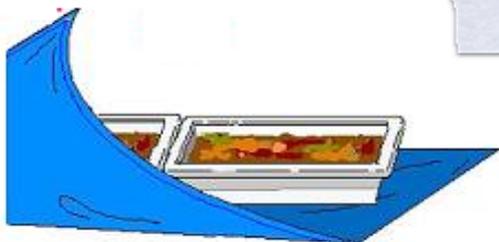
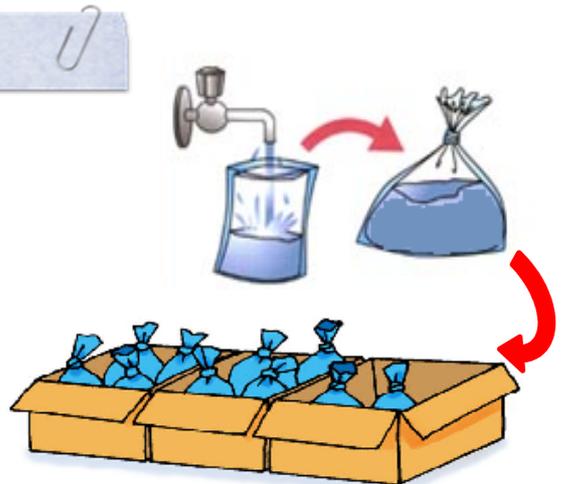
家庭にある、ゴミ袋やレジ袋に水を入れて、土のうの代用品として使用します。

#### （作り方）

ゴミ袋やレジ袋を二重または三重にして、水を袋の半分程度入れ、空気を抜き、口をきつく縛ります。

#### （設置の方法）

玄関や住宅の入口に隙間無く設置します。その際に段ボールに入れたり、レジャーシートやブルーシートにくるんで並べると、より効果的です。



### ②プランターとビニールシートによる工法

#### （作り方）

家庭にある、プランターをレジャーシートやブルーシートにくるんで並べる工法。

#### （設置の方法）

玄関や住宅の入口に隙間無く設置します。

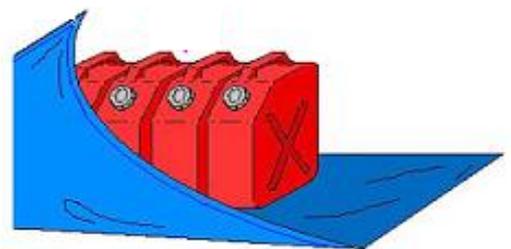
### ③ポリタンクとビニールシートによる工法

#### （作り方）

家庭にある、ポリタンクに水を入れをレジャーシートやブルーシートにくるんで並べる工法。

#### （設置の方法）

玄関や住宅の入口に隙間無く設置します。



## 早めの避難を！！ ～避難準備情報、避難勧告、避難指示～

- ① サイレン、防災無線で情報（避難勧告等）を伝達します。
  - ② CATV、HP、FMコミュニティ放送、メール、SNSを通じて伝達します。
  - ③ 広報車などにより伝達します。
- ※自治会、自主防災組織などを通じて町からの情報を伝達します。  
※高齢者や体の不自由な方への避難情報の伝達にご協力をお願いします。

